

さかき

議会だより

今日からスタート
(関連記事17ページ)

坂城町中小企業能力開発学院
令和4年度 新入社員研修会

3月定例会

- 令和4年度予算
坂城町体育館大規模改修、びんぐし湯さん館リニューアルなど2ページ
- 予算審査 委員長報告 4ページ
- ここが聞きたい!一般質問11名10ページ

さん館リニューアルなど

3月定例会 予算議会

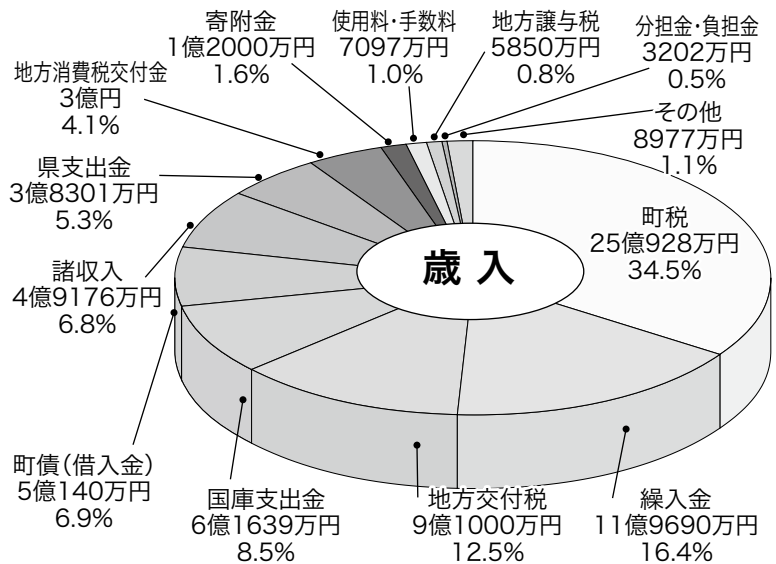
119億5314万円

令和4年第1回定例会は3月1日に開会され、専決処分承認のほか、令和4年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、条例案、工事変更請負契約の締結及び令和3年度補正予算等を原案のとおり可決し、22日に閉会した。一般質問には11名が登壇した。

一般会計
72億8000万円
前年度比9.1%増

歳入

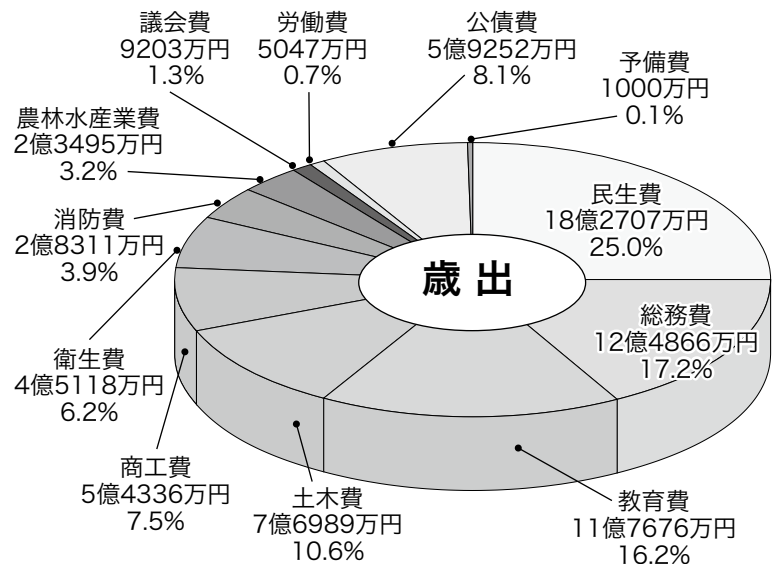
町税約25億円(前年度比9.4%増)



歳入
固定資産税は、3年度に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施された、中小企業者等に対する家屋及び償却資産に係る固定資産税の軽減措置が終了したことなどから、1億7900万円の増、町税全体では約2億1500万円の増を見込む。

歳出

新たに精神障がい者入院医療費を助成



歳出
国庫支出金は、A09号線道路改良事業の完了等により、8200万円減、寄附金はふるさと納税の3年度実績等を踏まえ、2000万円増額した。
新規のハード事業として、坂城町体育館耐震工事及び大規模改修事業、びんぐし湯さん館リニューアル事業のほか、南条小学校のほかに、蓄電設備導入事業、図書館エレベーター改修事業などに取り組む。
また、ソフト事業として、住民票等コンビニ交付サービス導入費用のほか、新公共交通システムの乗合タクシー事業、精神障がい者入院医療費の助成、農業振興地域整備計画の見直し、都市計画マスタープラン等策定に係る費用が計上された。

令和4年度 予算 坂城町体育館大規模改修、びんぐし湯



リニューアル工事を待つびんぐし湯さん館

令和4年度 予算総額

特別会計
46億7314万円
前年度比15.9%増

会計名	予算総額	対前年度増減率
国民健康保険	14億5621万円	△2.3%
工業地域開発事業	7億8118万円	2254.5%
下水道事業	7億7624万円	△8.6%
介護保険	14億2326万円	0.2%
後期高齢者医療	2億3625万円	△0.1%

国民健康保険

保健事業を推進するため、保険税収入を主な原資として県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等。前年度比2・3%、3500万円の減。

工業地域開発事業

造成が完成した南条産業団地2区画の土地取得及び財産売り払い。前年度比2254・5%、7億4800万円の増。

介護保険

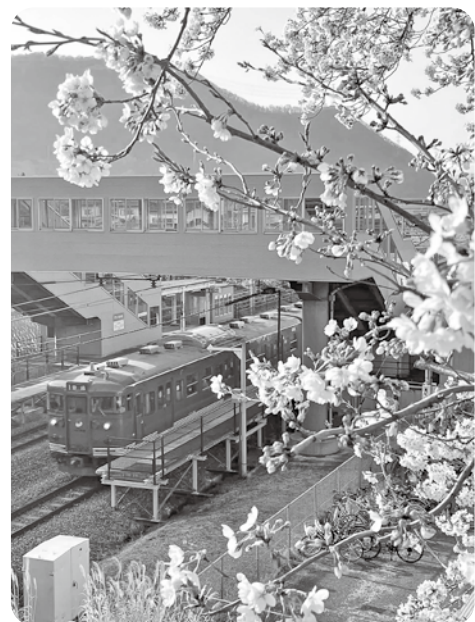
第8期介護保険事業計画に基づき、保険給付と地域支援事業を実施する。前年度比0・2%、232万円の増。

下水道事業

町内に点在する未整備地区の整備を進める。前年度比8・6%、7263万円の減。

後期高齢者医療

被保険者から保険料を徴収し、制度運営主体である後期高齢者医療広域連合へ納付する。前年度比0・1%、16万円の減。



しなの鉄道テクノさかき駅

委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和4年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

農業振興地域見直し

委員長 栗田 隆

歳入

問 個人町民税が減額と
なっているが、個人の所得
が減ると考えているの
か。

答 給与所得者等の所得
は増えるが見込んでい
るが、納税義務者数の減少
を見込み、全体としては
減額で見込んだ。

問 国庫補助金の就学援
助費等について、増額と
なっている要因は。

答 実績等を踏まえ、前
年度より9名増の76名を
見込んだ。

歳出

総務課

問 賦課徴収費の電算処
理業務委託が増額となっ
た理由は。

答 税業務の標準化及び
デジタル化を推進するた
めのシステム改修費の増
額に伴うものである。

問 改修の主なものは、令
和5年1月から導入され
る軽自動車税関係手続の
オンライン化、5年度か
ら導入されるQRコード
納税、共通納税の税目の
拡充、特別徴収に係る納
税通知書の電子交付など
である。

問 庁舎等改修の内容は。
答 3年度で役場庁舎の
外壁工事が完了すること

から、4年度は主に庁舎
3階から4階の階段周辺
の内壁タイルの工事を予
定している。

会計室

問 コンビニ収納の見込
み件数は。

答 例年並みの1万1千
件を見込んだ。

企画政策課

問 ふるさと納税を増や
すための施策は。

答 寄附受付のポータ
ルサイトを増やしたり
キャッシュレス決済の種
類を増やすなど、寄附申
し込みのしやすい体制を
整えてきた。今後につい
ても国の定める経費割合
や、寄附受付から返礼品
配送までの町の管理方法
を検討する中で、寄附申
し込みのしやすい体制づ
くりと魅力的な返礼品の
充実に努めていきたい。

問 スマートタウン構想
事業の今後は。

答 町内に再生可能エ
ネルギーを普及させるた
め、スマートエネルギー
設備設置補助事業を実施
している。また、地域の
核避難所となる各小学校
に太陽光発電設備と蓄電
設備の整備を進めてお
り、4年度では南条小学
校に蓄電設備を整備し、
既存の太陽光発電設備と
連携させる。今後も、公
施設への再生可能エネル
ギーの導入を推進する。

商工農林課

問 農業振興地域整備計
画見直しに関する考えは。

答 今後10年間の土地利
用を展望し、守るべき農
地は農振農用地として確
保し、荒廃化が進み山林
化してしまった農地は農
用地からの除外を検討す
る。また、インター先線や
国道18号バイパスの開通
など、今後の土地利用を
見据え6年3月までに策
定する予定である。

問 町有林管理事業にお
ける落石対策工事（荇屋
原地区）の概要は。

答 落石対策はしなの鉄
道からの要望によるもの
である。岩塊が2ヶ所あ
り、1ヶ所については、
現在、コンサルタントに
委託し、落石シミュレー



落石対策工事を予定（荇屋原）

シヨンを行い、工法などを検討しており、それを踏まえて4年度に発生源対策を行う。もう1ヶ所は、千曲市との境界にある岩塊について、千曲市が事業主体となって落石対策を行うが、4年度には測量設計を予定しており、その負担金を計上している。

建設課

問 道路新設改良費の舗装修繕工事の施工箇所は。
答 産業道路A01号線の四ツ屋ガソリンスタンド交差点付近を予定している。

問 都市計画策定業務の内容は。
答 県が策定する都市計画区域マスタープランを踏まえ、町でも第6次長期総合計画を基軸に、他の計画との整合を図りつつ、都市計画マスタープランを策定する。

社会文教常任委員会

町体育館大規模改修

委員長 滝沢 幸映

住民環境課

問 マイナンバーカードの交付状況と、普及促進への方策は。
答 4年2月末現在で、5397件、交付率は37・6%である。普及促進のためイベントの際に、出張申請窓口の開設などを検討している。

福祉健康課

問 シルバー人材センターの坂城町の登録者数と年代別内訳、業務内容、就業者数の状況は。
答 4年2月末時点で登録者数は156名。60代が33名、70代が106名、80代が17名である。業務は施設管理や作業員、施設清掃、植木剪定、草刈り、草取りが主で、118名が就業している。

問 葛尾組合焼却施設の跡地利用計画は。
答 焼却施設は、解体・撤去する計画である。跡地には、資源物、不燃ごみ処理を1ヶ所に集約し、業務の効率化を図るため、上山田不燃ごみ処理施設の移設を含め、新たなリサイクル施設を建設する方向で計画している。

問 鹿教湯三才山病院補助金の内容は。
答 鹿教湯病院と三才山病院の再編整備事業に係る補助で、上田地域広域連合の構成市町村で財政支援を行う。当町では4年度から9年度の6年間

にかけて各年度500万円、総額3000万円の補助を予定している。

問 緊急通報システムの利用状況と4年度の設置見込みは。
答 3年度は新機種への更新を行い、旧機器からの更新60名、新規設置57名、うち1名が撤去し、現在の利用者は116名である。4年度は新規申請15名分を見込んでいる。

問 保育園の副食費無償化に係る費用は。また、アレルギー除去食を実施している園児数と主なアレルギー食品は。
答 副食費は、3歳以上児について、約620万円を町の負担として計上している。アレルギー除去食対応とする園児は、3園で22名である。アレルギー食品として最も多いのが卵、次いで乳製品である。

教育文化課

問 4年度のGIGAスクール構想推進事業の内容は。
答 3年度から引き続き、信大教育情報化アドバイザーのご指導をいただき、学校職員会による年5回の講演・研修・公開授業などを行う。また、端末に慣れることから授業力の向上を目指す取り組みへの移行を共通テーマとし、家庭での活用方法やルールの明確化等を進める予定である。

問 坂城町体育館大規模改修の内容と日程は。
答 大規模改修は、更衣室の設置、トイレの改修、ボイラーを撤去して空調設備の更新、照明のLED化、ボルダリング設備の設置などである。工事の日程については今後、業者選定、入札、契約を行い、半年ほどの工期を見込んでいるが、ワクチン接種の状況や社会経済状況等を注視し、早めの対応に努めたい。



大規模改修が行われる坂城町体育館

委員長報告

特別会計

各常任委員会では、付託された令和4年度の5特別会計予算案について慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

国民健康保険事業

社会文教常任委員長 滝沢幸映

特定健診受診率65%を目指して

問 国保加入者数の推移は。

答 加入者数の推移は、年度末で平成30年度は3145人、令和元年度は3030人、2年度は2995人、3年度は2月末時点で2822人である。

問 国民健康保険税一人当たりの見込み額は。

答 医療給付費分は6万5140円、後期高齢者支援金分は2万4451円、介護納付金分は2万7145円を見込んでいます。

問 保険税率県下統一に向けての状況は。

答 9年度までに資産割の廃止、市町村ごとの医療費格差を是正するた

め、二次医療圏単位での医療費水準の統一を県で進めている。

問 特定健診の受診率の推移は。

答 30年度は54・2%、元年度は58・7%、2年度は48・6%、3年度は2月末時点で52・1%である。

問 特定健診受診率の県内の順位は。また、目標受診率達成のための取り組みは。

答 高い方からの県内順位は、30年度が29位、元年度は19位、2年度は32位である。受診率65%に向け、通知や訪問等の個別対応による受診勧奨を行っている。

工業地域開発事業

総務産業常任委員長 栗田 隆

工業用地の需要を把握し検討

問 次期工業団地の計画は。

答 今回の南条産業団地造成にあたり、町内外から多数の問い合わせをいただいた。引き続き、企業の工業用地需要を確認し、次期工業団地の整備について検討していく。

問 企業は業績が好調である場合にはすぐに工業用地を確保したい。次期工業団地の整備を早急にできないか。

答 工業団地造成にあたっては一定規模の土地が必要である。坂城町においては、そこに農振農用地が含まれる可能性が高い。農振除外には時間がかかり短期間での開発は難しい。町としては農業振興地域整備計画の総

合見直しを行う中で、守るべき農地と工業地域との整合性を図りながら、工業団地の整備の際には円滑に手続きができるよう進めていきたい。



完成した南条産業団地

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計。

特別会計は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計。令和4年度坂城町では、国民健康保険、工業地域開発、下水道、介護保険、後期高齢者医療の5会計がある。

下水道事業

総務産業常任委員長 栗田 隆

公債費残高約56億円

問 受益者負担金(6千260万円)と使用料(1億7千500万円)の内
容は。

答 受益者負担金は新規賦課地域となる約180戸、11万平方メートルを見込み、使用料は約1万5000人を対象に予算計上した。

問 公債費の残高は。

答 3年度末時点で56億円

問 管渠工事の施工予定箇所は。

答 昭和橋東側の国道交差点からしなの鉄道踏切方面への管渠及びマンホールポンプの新設、国道18号バイパス予定地及び坂城インター先線交差点の既設管路布設替えを予定している。



下水道工事(月見)

介護保険事業

社会文教常任委員長 滝沢 幸映

介護認定申請 月平均約60件

問 介護認定の申請状況は。

答 3年度の申請状況は2月末時点で、全体の申請が665件、月平均では60・5件となる。内訳は新規申請が193件、更新申請が356件、変更申請が116件である。

問 特別養護老人ホームの待機者は。

答 第二美里園の増床により待機者は減っている。待機者数の調査は毎年4月1日現在の状況で行っており、3年4月1日時点で59人である。

問 第8期事業計画において保険料が引き下げられた理由は。

答 第6期・第7期事業計画のサービス見込み量

問 介護認定の申請状況は。

答 3年度の申請状況は2月末時点で、全体の申請が665件、月平均では60・5件となる。内訳は新規申請が193件、更新申請が356件、変更申請が116件である。

問 特別養護老人ホームの待機者は。

答 第二美里園の増床により待機者は減っている。待機者数の調査は毎年4月1日現在の状況で行っており、3年4月1日時点で59人である。

問 第8期事業計画において保険料が引き下げられた理由は。

答 第6期・第7期事業計画のサービス見込み量

後期高齢者医療事業

社会文教常任委員長 滝沢 幸映

加入者約3000人

問 75歳以上の加入者と障害認定の加入者の内訳は。

答 3年2月末時点では加入者全体2962人のうち、75歳以上が2902人、障害認定が60人であった。4年2月末時点では加入者全体2983人のうち、75歳

問 特別徴収と普通徴収の人数の見込みは。

答 4年度は、特別徴収で2544人、普通徴収で467人の合計3011人を見込んでい

問 地域住民グループの状況は。

答 町内の15グループ中、2グループが休止状態で1グループが間もなく正式な立ち上げとなる。活動としては、レクリエーションや健康体操などを地区の公民館等で月1回程度行っている。現在は全てのグループが新型コロナウイルス感染症防止のため、一時的に活動を休止している。

坂城町緊急通報装置(あんしん電話)



第1回定例会 議案審議

契約の承認

◆町道A09号線道路改良工事変更請負契約の締結
南条産業団地のメイン道路となるA09号線道路改良工事について、既設町道との擦り付けに伴い舗装工事を行うため、請負金額を171万6千円増額し、1億2260万6千円とする。

きのみ書面に代えて電磁的方法によることを可能としていたが、すべての手続きについて電磁的方法によることを可能とする。

◆坂城町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、子育て世帯の経済的負担を考慮し、未就学児に係る被保険者均等割額を5割軽減する。

条例改正

◆坂城町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の一部改正

条例の有効期限を1年延長し、令和9年3月31日までとする。

◆坂城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

保育所等の事業所と保護者との手続きについて、これまで一部の手続

令和3年度一般会計補正予算 (主なもの)

◆第9号(専決)補正額 歳出	2億6,802万円
○子育て世帯等臨時特別給付金支給事業	9,859万円
○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	1億6,943万円
◆第10号補正額 歳出	2,662万円
○ワクチン接種委託料	2,621万円
○接種料金請求に係る国保連審査手数料	41万円
◆第11号補正額 歳入	2億58万円
○町税	2億4,200万円
○普通交付税	1億5,225万円
○町債	▲2億203万円
歳出	
○湯さん館への事業持続化負担金	1,600万円
○地域交通事業者への事業持続化給付金	100万円
○保健福祉等複合施設整備基金積立金	1億22万円
○文教施設整備等基金積立金	1億5,089万円
○町道A09号線道路改良事業	▲3,800万円
○中小企業等事業継続支援金	▲1,326万円
繰越明許費(上限額)	
○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	4,512万円
○町道A01号線道路改良事業	2,106万円
○橋梁修繕事業	4,600万円

令和3年度工業地域開発事業特別会計当初予算 テクノさかき工業団地内の1区画を企業に分譲する。

◆予算額	3,317万円
歳入	
○用地の売払いによる財産収入	3,317万円
歳出	
○用地の土地取得費	3,317万円

繰越明許費とは?

何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、特別に、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるものをいう。

なお、あらかじめ予算でその上限額を定めておく必要がある。

一般会計補正予算 (第11号)

問 繰越明許費が計上されている。住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業及び橋梁修繕事業が繰越となった理由は。

答 橋梁修繕事業は主に昭和橋及び国道と役場の間に架かる64号橋に関するもので、千曲川河川事務所との工程調整等に時間を要し、4年度に繰り越して工事を行うためである。

◆字の区域の変更
◆町道路線の変更・認定・廃止
南条産業団地造成などに伴い変更等を行う。

答 臨時特別給付金事業は、2月から順次、申請のあった非課税世帯等に対し10万円を給付している。4年度においても引き続き申請を受け付け、給付を行っていくため繰り越した。



4月に開通した町道A09号線

第1回定例会(3月)の審議結果

1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)													
		山城峻一	祢津明子	中島新一	大日向進也	玉川清史	栗田隆	朝倉国勝	滝沢幸映	吉川まゆみ	西沢悦子	塩野入猛	中嶋登	大森茂彦	小宮山定彦
令和4年度当初予算	国民健康保険特別会計	○	○	○	○ 賛成討論	× 反対討論	○	○	○	○	○	○	○	×	議長職

2 全会一致で議決した議案

(1) 専決処分

- ①一般会計(第9号)
- ②和解及び損害賠償額の決定

(2) 条例等

- ①坂城町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の一部を改正する条例
- ②坂城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ③坂城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(3) 令和4年度当初予算

- ①一般会計
- ②工業地域開発事業特別会計
- ③下水道事業特別会計
- ④介護保険特別会計
- ⑤後期高齢者医療特別会計

(4) 令和3年度補正予算等

- ①一般会計(第10号)
- ②一般会計(第11号)
- ③国民健康保険特別会計(第2号)
- ④工業地域開発事業特別会計(当初)
- ⑤下水道事業特別会計(第4号)
- ⑥介護保険特別会計(第2号)
- ⑦後期高齢者医療特別会計(第2号)

(5) 決議

- ①ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、平和的解決を求める決議

(6) その他

- ①社会資本整備総合交付金事業A09号線道路改良工事変更請負契約の締結
- ②字の区域の変更
- ③町道路線の廃止
- ④町道路線の認定
- ⑤町道路線の変更

3 全会一致で否決された議案……なし

「ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、平和的解決を求める決議」を全会一致で可決

坂城町議会は3月11日の本会議において、議会運営委員会から提案された「ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、平和的解決を求める決議」について、全会一致で可決しました。

本年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会の平和と秩序を脅かし、生命及び安全に対する権利を侵害するものであり、断じて容認できない。

坂城町議会は、世界の恒久平和を願い、ロシアによるウクライナ軍事侵攻に強く抗議するとともに、軍事侵攻を即時停止し、即時完全撤退することを強く求める。

政府においては、関係各国及び国際社会との緊密な連携により、平和的解決に向けた外交及びウクライナ国民に対する人道支援に尽力するとともに、邦人の保護に万全を期するよう要請する。

また、我が国への経済、エネルギー等への影響を極力抑える早急な対策を求める。

以上、決議します。

令和4年3月11日

坂城町議会

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

質問項目

大森 茂彦 議員 10 ページ

- ① 気候危機打開の取り組みは
- ② ケア労働に従事する職員の処遇改善は
- ③ 加齢による難聴者の補聴器に助成を

中嶋 登 議員 11 ページ

- ① ゼロカーボンについて
- ② 五里ヶ峰トンネル横坑について

吉川 まゆみ 議員 11 ページ

- ① ひきこもりの現状と支援について
- ② 婦人消防隊の今後について
- ③ アクションスポーツ練習場について

栗田 隆 議員 12 ページ

- ① 諸物価高騰について
- ② 犯罪被害者等支援条例について

中島 新一 議員 12 ページ

- ① アフターコロナに向けて

塩野入 猛 議員 13 ページ

- ① 定住自立圏と中枢都市圏について
- ② 国道18号バイパス坂城町区間について

滝沢 幸映 議員 13 ページ

- ① 里山の整備と保全について
- ② 選挙と投票所について

朝倉 国勝 議員 14 ページ

- ① 今後の道路事業について
- ② 農業振興について

玉川 清史 議員 14 ページ

- ① コロナ感染者等への支援について
- ② 安心・安全な生活のために

大日向 進也 議員 15 ページ

- ① 町のコロナ感染状況とワクチン接種について
- ② 地域公共交通システムについて

山城 峻一 議員 15 ページ

- ① びんぐし湯さん館のリニューアルについて
- ② 食育と地産地消の推進について

加齢性難聴

補聴器購入に助成を

実態調査をしていく



大森 茂彦 議員

問 前回の質問で「国や県の動向を注視していく」と答弁があったが、再度、町単独事業として助成制度の創設を求める。福祉健康課長 加齢性難聴は、相当数の人がいると推測され、引き続き国や県の動向を注視していく。

答 全国では、市町村単独で支援しているところがある。医師の証明のほ

か、住民税非課税世帯や所得制限なし、購入費の3分の2、上限設定などそれぞれ工夫して実施している。地方自治法では「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」となっている。当初は国や県は動かないが、全国の市町村が実施することで、県や国が動く例もある。子ども医療費の無料化でもそうであったように、待っている人は、今、難聴で困っている人にとっては

何の救いにもならない。「町単独事業でできる福祉充実」の一つとして財政調整基金の一部を取り崩し、補聴器助成の実施を求める。

町長 加齢性難聴は「明日は我が身」となるかもしれない。町でも実態調査をしながら、他の市町村の例もあるので研究していきたい。

充電式補聴器フェア!

充電式	充電式	充電式
リサウンド キー 3	ワイテックス マグニファイ 100	ソニックス スタイルレット 3X
片耳価格 100,000円 両耳価格 180,000円	片耳価格 160,000円 両耳価格 270,000円	片耳価格 240,000円 両耳価格 408,000円

電池式耳掛け型補聴器

電池式	電池式	電池式
リサウンド キー 2	ワイテックス マグニファイ 50	ワイテックス モーメント 220
片耳価格 80,000円 両耳価格 144,000円	片耳価格 140,000円 両耳価格 240,000円	片耳価格 250,000円 両耳価格 440,000円

ソニックスの最先端テクノロジーを搭載した、イヤフォン型補聴器が誕生!

充電式
ソニックス アクティブ
片耳価格 153,000円 両耳価格 267,000円

各種補聴器の一例

気候変動

ゼロカーボン宣言は

9市町村で共同宣言



中嶋 登 議員

問 昨年3月議会で「ゼロカーボン宣言」を提案した。その後、どうなった

か。2050年ゼロカーボンに向けて町の考えは。

企画政策課長 長野地域連携中核都市圏の9市町村に、町長が提案して「2050ゼロカーボン宣言」ができた。気候変動の状況や国・県の動向をみて、各自治体の特性を活かし、脱炭素事業を共同で創出す

る。また、温暖化から住民を守り、持続可能な環境を次世代に残すため、住民・事業者・自治体が一九となつて、脱炭素に向けて意識の共有を目指していく。

五里ヶ峰トンネル横抗

問 横抗利用で、ホワイトアスパラは中沢町政の頃「銀河の貴婦人」という名前をつけたり、アスパラ焼酎まで作ったが採算が合わずやめてしまった。当時、私の提案で「かいこ棚」のような物を作つて、ワインの貯蔵庫とすることを提案した。原点に戻つて坂城の宝である横抗に、改めてワイン貯蔵庫を作ることを提案する。

商工農林課長 現在、横抗では、主に、おしい原木会がきのこを、青年農業者有志がホワイトアスパラを生産している。今後、山梨県甲州市の取り組みも参考に、ワイン貯蔵庫としての利活用も検討する。



五里ヶ峰横坑作業用トンネル 坑口

集いの広場

スケボーなどの練習場を

調整池を活用し整備



吉川 まゆみ 議員

いか検討し「若者が楽しめる新たな居場所」として、スケートボードや3人制バスケットボールなどができる場所の整備を決めた。多くの皆さんが気軽に使えるよう無料とし、夜間照明を設置し21時位まで利用できるよう検討している。

問 利用にあたってのルール作りやセクション設置の考えは。

教育文化課長 安全で楽しく施設を利用していただくため、近隣の施設の状況や、愛好家の皆さんをはじめとする関係の方々と相談をし、一定のルールを決め、注意看板を入口に掲出していく。セクションについては、高い耐久性や耐久性、安全性を備え、手作りでは難しい構造的に複雑な複合型のスケートボードセクションの設置を計画している。



スケートボードパーク
(上田城跡公園やぐら下多目的広場)

問 2年7月、町内のスケートボード愛好家の方々から「アクションスポーツ練習場の設置を求める要望書」が町長に提出され一日も早い整備を希望されていたが、その後の検討状況は。

町長 「南条産業団地」には、法により「調整池」の設置が定められており、降雨の際には雨水を貯める機能を有している。しかし、平常時は水が貯まっていなため、何らかの有効活用が図れな



栗田 隆 議員

石油等物価高騰の原因は

産油国による供給不足

諸物価高騰

問 電気・ガス代を始め多くの物価が高騰している。特にガソリン、灯油の値上がりは生活を脅かす段階にきている。確かに、コロナ禍からの経済の再開による需要増に供給が追いついていない側面がある。しかし、それ以外

上に、何ら成算のない拙速な「脱炭素」の流れがあると思うが町の見解は。

企画政策課長 「脱炭素」ということで化石エネルギーから自然エネルギーの方へ切り替わっていく中で、石油の需要が落ちていくと考えられている。産油国はそういったことを見越して供給の絞り込みを行っている。この急激な供給絞り込みが需給バランスを崩していると考えている。

問 事実無根の誹謗中傷や無責任な風評被害などの二次被害についての対策は。

企画政策課長 当町では毎年「人権尊重のための町民集会」を開いている。その中で犯罪被害者についても今後テーマとして取り上げていきたい。不当な差別や偏見、いじめ等が生じないようにあらゆる機会を捉えて啓発を行っていきたいと考えている。



昨年3月は1300円だったのに

犯罪被害者等支援条例

コロナ禍

4年度の事業所支援は

状況に応じた的確に対応



中島 新一 議員

問 3年度に実施した「さかきのお店応援券事業」の利用実績は。

また、4年度におけるコロナの影響を受けている事業所への支援策は。

町長 「さかきのお店応援券事業」では、発行総額2893万円に対して、換金総額が2561万4千円、約9割の利用があった。4年度の支援事業は、

製造業や飲食店などの小規模・零細企業を中心に、国や県の支援制度も確認しながら必要とされる支援が行き届くよう、状況に応じた制度の検討や情報

発信などについて、的確に対応していく。

町の観光施設について

問 コロナ後の集客に向けた取り組みは。

商工農林課長 鉄の展示館では「鎌倉時代の日本刀展」をはじめ、各企画展

等を開催していく。
建設課長 さかき千曲川バラ公園で行う「ばら祭り」は、5月28日から6月12日まで16日間の開催を計画している。

企画政策課長 湯さん館はオープンから20周年を迎えリニューアル工事を行う。安心して利用できるよう環境を整え、コロナ収束後は地域活性化の一翼を担えるよう準備を進める。



広域連携

長野・上田圏域への考え

地域的メリットを生かす



塩野入 猛 議員

問 坂城町は、長野地域連携中枢都市圏と上田地域定住自立圏の両圏域に属している。

両圏域ともに、人口確保により地方圏の社会経済、生活機能を形成する政策を進め、大枠では同じ方向を向いている。両者の違いと、一方の圏域に決めて政策を進めることへの考えは。

答 網掛地区での建設工事が進み始めた。現在までの進捗状況と区間事業費の総額に対する費用支出状況は。

また、現在の用地取得の状況と土地開発公社で一部先行取得した土地の買い戻しの経過は。

建設課長 工事用道路整備工事のほか水路付け替え、道路本体の盛り土工事が行われている。区間総額110億円の執行率は事業費ベースで29%である。

用地取得は、2年度までに面積ベースで81%であり、先行取得6億円のうち4億8千万円が買い戻された。

せる地域的なメリットがある。こうした特長を生かして、必要な分野で必要な相手と連携し「輝く未来を奏でるまち」を実現したい。

バイパス坂城町区間

松枯れ対策は

総合的な対策を進める

里山の保全



滝沢 幸映 議員

どのマツノサイセンチュウを運ぶ。それが松の樹体内に入り、やがて樹脂道が破壊され、急速に枯れることで被害が拡大していることと推察する。伐倒駆除、空中・無人ヘリ散布の防除対策のほか、枯損木活用、抵抗性アカマツの植樹、根茎感染防除など総合的な対策を進め、リスクコミュニケーション強化にも努める。

選挙の投票所について
問 第6投票所(田町間魔堂)は、何段もの階段があり、足腰が不自由な方には不便である。変更の考えは。また、立会人の負担軽減のため、半日ごとで交代するなど、時間短縮の考えは。
総務課長 投票所変更は、必要に応じ研究する。立会時間短縮は、地域の事情や体調面の配慮も考え、選挙管理委員会に相談するなかで対応する。



バイパス工事が始まる(網掛地区)

問 松枯れ被害の広がってきた要因と松くい虫防除対策の取り組みは。また、森林病害虫被害枯損木活用事業の内容は。

町長 健全なアカマツの若枝を食べるために飛び回るマツノマダラカミキリが、体長1ミリほ



マツノマダラカミキリは平均1万5000頭のセンチュウを持っている

道路事業

今後の道路事業の考えは

さらなる整備促進へ



朝倉 国勝 議員

問 国道18号バイパスとインター先線の工事が進展を見せている。数年先には供用ができると考えたなかで、このインフラ整備を促えた町全体を俯瞰した道路整備の考えは。

町長 国道バイパスの建設は、地域住民の思いをつなぐ道路事業である。地域や企業、近隣自治体と協力しながら関係機関と連携し、一日も早い供用に向けて整備促進に努めたい。インター先線については、5年度の完成を目指している。その

先の18号バイパスまでの延伸区間については、3年度は予備設計を行い、5年度に事業化を目指し進めている。このインフラ整備は、将来、坂城町を始め近隣市町村の渋滞緩和や地域産業、観光等の活性化への大きな成果に



国道18号バイパス工事（網掛地区）

つながることが期待される。町としても主要町道の整備促進に努める。水稻の作付について

問 今年度の作付の調整が始まるが課題は何か。
商工農林課長 コロナ禍と消費の減少が続き、余剰米が発生し価格の下落につながっている。このようなか、水稻作付率は約50%の転作が必要である。知恵を出した転作を進めたい。

問 小学校や保育園等が新型コロナウイルス感染症のために休校や学級閉鎖になり、仕事を休んで子どもへの世話をする保護者への経済的支援策として、国の「小学校休業等対応助成金・支援金」があるが、活用は不十分だ。この制度の利用促進のための町

コロナ対策

学校休業時の経済支援は

国や町の現行の支援策で



玉川 清史 議員

の取り組みは。また、助成金・支援金の対象とならない自営業者や家族労働者などへの支援は。

町長 支援制度一覧のチラシを作り、事業所や全戸に配布をしたり、役場窓口などにも配置して広報周知をした。自営業者などへの支援として3年度、町では「中小企業者等事業継続支援金」を設けた。今後も小規模零細企業等の支援をしていく。

児童生徒の不審者対策

問 校外での指導内容は。 **教育文化課長** 学校では防犯ブザーや笛の携帯と使用方法の指導、複数人での登下校や定期的な街頭指導をしている。そのほか、警察の取り組みとして「こどもを守る安心の家」がある。昨年4月時点で約150軒あり、不審者対策以外にも、水をもらったり、トイレも借りられるようにお願いしている。安心の家は、年度当初の集団下校時に教職員が一緒に確認している。



新公共交通

運行開始の予定は

4月スタート



乗り合いタクシーに使用される車両



大日向 進也 議員

問 乗合タクシーシステムの内容は。
建設課長 対象者は自家用車等で移動が困難な75歳以上の高齢者とし、利用料金は1回500円、利用するにあたっては事前に登録を行う必要がある。また、介添えが必要なる方の利用については、付

き添う介添え者も同額にて乗車可能とした。
 予約は、町内タクシー事業所で行い、乗車の1週間前から1時間前まで受け付ける。

運行エリアは町内に限られ、利用者が登録した自宅から医療機関、調剤薬局、福祉施設、商業施設、金融機関、交通機関、温泉施設、公共施設など指定した36ヶ所である。
 運行時間は、土日と年末年始を除く平日午前9時から12時、午後1時から3時までを利用可能とする。

車両については既存の車両が主となるが、車椅子が積載可能な車両も用意されている。

問 循環バスの今後は。

町長 今回導入する乗合タクシー事業は実証実験期間を最長で3年予定している。実証実験運行で、循環バスにどのような影響があるかなど今後見極める必要もあり、当面は現行の形で運行する。

食育

町の食育の取り組みは

様々な取り組みを実施



山城 峻一 議員

問 町の食育の取り組みは。

保健センター所長 エネルギーや塩分等の過剰摂取や野菜の摂取不足等による栄養の偏り、食習慣の乱れが見られ、これらに起因する肥満、生活習慣病が大きな課題となっている。町総合計画や国・県の計画等との整合を図りながら全ての世代に向けて、様々な取り組みを実施している。

大につながる調理方法を紹介している。
 この他にも、毎月の献立表には献立以外に食品の栄養、働き、エネルギー量、地域食材や旬の食材などを掲載している。その裏面に「食育だより」として、献立作成のポイントや行事食、伝統食を始めたとした食育に関する事例を掲載している。
 また、各学級に掲示する食育だよりも作成するなど、食育の啓発に努めている。

問 学校での食育の取り組みは。
教育文化課長 食育・学校給食センターでは、学



健康維持は食事から（保健センター）

町議会主催の議員研修会を開催

「自治体予算決算のポイントと
令和4年度(地方財政計画)について」

講 師 金沢学院大学講師 兼村 高文氏

「インフレが起こっており、このインフレが続いた場合、金利が上がりが大変な経済危機が訪れる」

去る1月20日に行われた議員研修会における講師の兼村高文氏の結びの言葉である。氏は金沢学院大学講師であり国際公会計学会理事でもある。兼村氏によれば当町の財政状況は概ね良好であり健全財政であるとのこと。コロナ禍での研修会ということで時間を短縮して行ったため個々具体的な点を深掘することができなかったことは残念であった。

日銀が目指す2%のインフレ目標というものは、金融緩和で潤沢な資金を供給し、政府が地方交付金の増額、公共インフラの整備、教育・科学分野への投資増などの財政政策によって国民所得を増やし需要を喚起する。その好循環の中で物価が上がるといったものであった。しかし実際に

起こっていることは政府の消費税増税、緊縮財政、コロナ禍での需要の減退、そこへエネルギー価格の高騰によるコスト増の「悪性インフレ(いわゆるスタグフレーション)」。

兼村氏の言葉は現実のものとなって来た。

このままインフレを恐れて緊縮財政を続けた場合、不況が深刻化して「不況下でのインフレ」で日本が沈むのでは?といった点について、次の機会により深めた議論をした。

(栗田 隆)



上田地域市町村議会議員研修会

演 題 「VUCA(ブーカ)の時代が始まっている」
講 師 マネジメンツ・ガーディアン 中澤昭彦氏

1月13日(木)、上田市において、上田地域市町村議会議員研修会が開催されました。

VUCAとは、V(Volatility: 変動性)、U(Uncertainty: 不確実性)、C(Complexity: 複雑性)、A(Ambiguity: 曖昧性)の頭文字をとった造語で、「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。講師から、こうした時代において、「今まで通りの延長線ではない時代」であることを意識して行動していくことの大切さについて話がありました。



1月

- 7・14・19日 議会報編集委員会
- 12日 上田地域広域連合議会臨時会
- 13日 上田地域市町村議会議員研修会
- 20日 議会全員協議会
議員研修会
- 26日 町例月現金出納検査

2月

- 3日 上田地域広域連合議会代表者会
長野広域連合議会運営委員会
- 8日 国民健康保険運営協議会
- 10日 長野広域連合議会定例会
- 16日 葛尾組合議会定例会
- 17日 六ヶ郷用水組合議会定例会
- 18日 議会全員協議会
坂城駅周辺活性化特別委員会
千曲衛生施設組合議会定例会
- 21日 議会運営委員会
- 24日 千曲坂城消防組合議会定例会
- 25日 町例月現金出納検査
- 28日 上田地域広域連合議会定例会

3月

- 1日～22日 3月議会定例会
- 1・17・25日 議会報編集委員会
- 4日 (公財)さかきテクノセンター理事会
- 10・22日 議会運営委員会
- 23日 町空家等対策協議会
町能力開発学院運営委員会及び修了式
- 24日 町土地開発公社理事会
- 25日 (公財)さかきテクノセンター評議員会
- 28日 町例月現金出納検査

春へのとびら



御柱(網掛)



御柱(上五明)



入学式

表紙の写真

4月5日～7日の3日間、坂城町中小企業能力開発学院主催による「令和4年度新入社員研修会」が坂城テクノセンターで行われたときの様子です。

町内企業に入社した87名(15社)が参加し、ビジネスマナーのほか、労働災害防止と安全衛生についてのグループワークなど、様々な研修が行われ、参加した皆さんは、緊張した面持ちで熱心に受講していました。

また、新型コロナウイルス感染対策のため、センター内の4つの部屋に分かれて研修が行われました。

坂城町の企業で、日本の将来を背負って立つ新しい力にエールを送り、これからのご活躍をご祈念申し上げます。(写真・文 中島 新一)



議会事務局人事異動

4月1日付けで、宮崎あかね議会係長が福祉健康課保険係長として異動しました。宮崎係長には3年間、議会運営等にご苦労いただきました。

後任として、柳澤ひろみさんを福祉健康課より迎えました。新係長のご活躍を期待します。

まちを支える

～町立図書館とともに36年～

坂城町立図書館 おはなし会

おはなし会は、ボランティアにより毎月第2土曜日に行っています。ふり返っていると、町立図書館が開館したのは今から37年前(昭和60年6月)ですが、おはなし会は翌年の1月にはスタートしました。最初は図書館の司書さんや児童館の方など10人くらいのメンバーで、毎回30人以上の子どもたちと親御さんが来ていました。時間は1時間くらいで、前半に絵本を読

んで後半は作業をします。12月はクリスマス会ですが、そのときは200人くらい来て会場がいっぱいになりました。帰りにプレゼントを渡すのですが、足りなくなつて困ったこともあります。当時はまだ、お嫁さんはお姑さんの手前、自分の

用事では外出できなかった時代です。図書館なら子どもたちの本を借りるのですから出かけられます。図書館は大事な場所でした。子どもにとって本に親しむことは大切です。図書館にぜひ連れてきて絵本を借りて、読んで聞かせてあげてください



い。同じ本を何度でも読んで読んでというかもしれない。が、読んであげてください。そのうちに自分でも読むようになります。子どもころに習慣がついていると、大きくなってからも本が好きになります。本を読むことで楽しい思いをしてもらいたい。図書館の敷居を低くするために、おはなし会をずっと続けていきたいと思います。

子ども達に伝えたい。みんなが住んでいる地球にはいろいろな国があり、いろいろな人が住んでいる。領土とは何なのだろう。戦うとはどういうことなのだろう。そもそも平和とはなんだろう。何が正しくて何が正しくないのか。そして何より命とは何なのだろう。自分の頭で考えなければならぬことがたくさんある。生きていくうえで大切なことは「自分で決めて、自分の言葉に責任を持つこと」。



みんなの人生は、フリー(自由)で、フラット(対等)で、ファン(楽しい)です。から。(柘津明子)

つれづれに

子ども達に伝えたい。みんなが住んでいる地球にはいろいろな国があり、いろいろな人が住んでいる。領土とは何なのだろう。戦うとはどういうことなのだろう。そもそも平和とはなんだろう。何が正しくて何が正しくないのか。そして何より命とは何なのだろう。自分の頭で考えなければならぬことがたくさんある。生きていくうえで大切なことは「自分で決めて、自分の言葉に責任を持つこと」。

(柘津明子)

発行責任者 議長
議会報編集委員会 長

委員長 小宮山定彦
副委員長 大森 茂彦
委員 山城 峻一
吉川まゆみ
中島 新一
柘津 明子

小宮山定彦
大森 茂彦
山城 峻一
吉川まゆみ
中島 新一
柘津 明子

◎発行/長野県埴科郡坂城町議会
責任者/小宮山定彦 編集/議会報編集委員会

TEL(代表)(0268)82-3111(直通)(0268)75-6213 FAX(0268)82-8307
E-mail/gikai@town.sakaki.nagano.jp

◎印刷/滝沢印刷合同会社